

## 亀山・関テクノヒルズ



事業主体：住友商事株式会社

所在地：三重県亀山市

開発面積：約 147ha

関連法令：都市計画法 森林法、砂防法、農地法、環境影響評価条例、道路法等

治水対策：調整池ダム 2 基 (15 万 m<sup>3</sup>、8 万 m<sup>3</sup>)

土工量：総土工量約 650 万 m<sup>3</sup> (うち第 1 期～第 4 期までの既移動土量約 590 万 m<sup>3</sup>)

計画設計期間：1989 年 3 月～1998 年 11 月 (当初開発許可)～2007 年 3 月 (最新開発変更許可)

造成工事：2002 年 4 月第 1 期工事着工、2008 年 2 月第 4 期工事まで完了

### ◆三重県クリスタルバレー構想の中核

当産業団地は、大阪と名古屋とを結ぶ一西名阪自動車道・名阪国道・東名阪自動車道の亀山 IC および新名神高速道路の亀山 JCT に近接し、幹線道路と直結した足回りの良さが特徴で、シャープ、凸版印刷 (株) などの国内有数の優良企業が既に進出している。

三重県はクリスタルバレー構想を策定し、液晶をはじめとする FPD (フラット・パネル・ディスプレイ) 産業の集積を推進中であるが、シャープが当団地へ進出したことにより、亀山はその中核として位置付けられている。シャープ亀山工場は液晶パネルから大型液晶テレビまでを一貫生産する世界初の工場であり、亀山工場製パネルを用いた液晶テレビは、高クオリティの "亀山モデル" として世界的に認知されている。施主のニーズを反映する造成設計 (オーダーマイド造成、オーナーズコンサルタント) 当団地に進出を希望する企業のニーズを汲み取り、造成、インフラ設計に反映させた。また、それに伴い発生する開発許可申請の変更を迅速に行うことで、工事を遅らせることなく対応し、スピードが命である進出企業のご要望にお応えしており、現在も引続き、新規進出企業のためのオーダーマイド造成を行って誘致を図っている。

### ◆豊かな自然に配慮した造成設計

三重県鈴鹿山脈の麓、大自然の緑の中に囲まれた当産業団地では、進出企業は各々環境に配慮した工場を建設しており、団地全体でも環境共生に配慮した設計を行っている。中でも水辺公園と呼ばれる親水公園は、当産業団地のオアシス的存在として、産業団地に潤いと良好な景観を与え、豊かな緑と水面に囲まれた静かな雰囲気の中で、散策や各種イベントを楽しむ場として、市民に開かれた環境共生型の水辺空間を創出している。